

## SSH通信

## 三高探究の日

2019.5.21 (火) 理数科・普通科全学年

## 課題研究・探究の成果発表・参加～3年生

## ●三高探究の日を通じて

今回の三高探究の日は、理数科の課題研究のみでなく、普通科の探究も発表しました。いらっしやっった大学の先生や発表を聞いた同級生からの質問も多く、活発な議論が行われ、とても充実した時間となりました。昨年からは、理数科2年生が修学旅行で国立台湾師範大学附属高級中學校を訪ねた縁もあって、国立台湾師範大学附属高級中學校の皆さんにお越しいただきました。今回、台湾の高校の皆さんのレベルの高い研究を聴きました。台湾の高校生の方々と有意義な時間を過ごすことができました。国境を越えた交流というのはそう簡単に体験できるものではなく、これからも大切にしていきたいと思っております。この活動が今後も続いていくことを願っています。

(3年理数科 中野 雄斗)

## これからの行事

6/24(月) 第1回理数科講演会 理数科 1・2年生

7月中 第1回SSひらめきサイエンス 希望者

7月中 第1回SS講演会(放課後) 希望者

7月中 わくわくサイエンス 希望者

8/6(火)～8/8(木) SSつくば研修 希望者

8/7(水)～9(金) SS白神フィールドワーク 希望者



## ●文理の枠を超えて

今回の三高探究の日では、理数科だけでなく、普通科や台湾の学生も発表に参加し、グローバルで多様なテーマが話し合われました。私自身も普通科文系として発表をしましたが、聴講者の質問や意見などで自分の研究内容の矛盾点や不十分な点に気づき、改めて研究を違う視点から捉え直すことができました。また、聴講者としても、普段は縁遠い理系の発表を聞き、理系・文系という枠を超えた幅広い視野で様々なテーマを考えることができました。この探究の日の経験がいつか社会の中で飛躍する一歩となったと思います。

(3年普通科 水野 有理)



## ●三高探究の日を終えて

私は三高探究の日に発表者と聴講者、二つの立場で参加しました。最初は、自然科学部の発表を聴きました。先行研究と比較しながら、新しい発見をしていました。普通科の発表に比べてとても完成度の高いものだと感じました。また、自然科学部の発表に対して聴講者からとても鋭い質問がありました。自分たちの発表では、質問を最初に予想しながら発表原稿を詰めていく必要があると感じました。自分たちの発表では、今までやってきた研究の成果をしっかりと聴講者に伝えることができました。しかし、質問に答えられなかった場面もありました。今後は、自分たちの中で理解しきれていない部分を、より深く突き詰めていきたいと感じました。

探究の日を通して、口頭発表について多く学ぶことができたので、今後生かしていきたいと思っております。

(3年普通科 池田 康大)

## Information

SSH課外活動は、理数科・普通科の別や学年を問わず本校生徒なら誰でも参加できるものがほとんどです。ぜひ、積極的に参加してください。

## 宮城県仙台第三高等学校

仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19

TEL 022(251)1246

FAX 022(251)1247

E-mail sensan@od.myswan.ed.jp



# 課題研究・探究の成果発表・参加~1・2年生



## ●探究の日

理数科、普通科、台湾師範大学附属高級中學の皆さんがそれぞれの研究成果を発表しました。理数系に限らず発表内容は多岐にわたり、様々な分野の発表を聴くことができました。質疑応答も活発で、講師の方や先生方からも貴重な御意見を頂きました。国立台湾師範大学附属高級中學の皆さんとの交流では、台湾ではお土産文化だということを知っていたので、日本ならではのお菓子や小物を用意しました。言葉の違いから交流するのが難しいと考えていましたが、英語を駆使し、文化の違いを知り、親交を深めたりすることができました。この貴重な経験を今後の活動に活かしていきたいと思えます。

(2年理数科 萩原 夏樹)



## ●追いかけてい背中

「理数科にとって三高探究の日は文化祭や体育祭に並ぶ一大イベントだ。」担任の先生にそういわれながらも、私は前日までそのことを実感できずにいた。だが当日、いざ聴講してみると先輩方の見事な発表に終始圧倒されてしまった。着眼点の説明に始まり、実験の解説や考察、今後の展望に至るまで、私たち一年生にも分かりやすい説明をして下さった。質疑の際も先輩方はたくさん挙手をされ、その指摘にさえも驚くばかりだった。お越しいただいた講師の先生方のアドバイスや台湾師範大学附属高級中學の皆さんの発表にも感嘆した。来年、私たちは発表する側となる。今日受けた数々の刺激を糧とし、この一年を自身のさらなる成果の為に使っていききたい。先輩方に少しでも追いつく為に。

(1年理数科 星山 直輝)



# 東北大学工学部研修

2019.5.22 (水) 理数科2年生

## ●工学部研修

私は、東北大学機械知能・航空工学科量子サイエンスコースを訪問しました。訪問先では精神状態で変化する人間とプログラミングによって設定された人工知能(AI)のどちらの判断を優先するかを科学的に研究していました。例えば、全自動自動車の運転走行中にAIだけでは対応できない状況に陥った場合、飛行機操縦中に緊急事態が発生し、操縦士がパニックに陥った場合など脳や筋肉の動きを解析し、どちらの判断を優先し、よりの確かなシステムを作っていくかを研究しており、科学技術倫理にも興味を持ちました。また、研究の内容や方法は学生の自主性に任せており、今のうちから主体的に多くの活動に取り組んでいきたいと思えます。英語頑張ります。

(2年理数科 佐々木 海斗)

